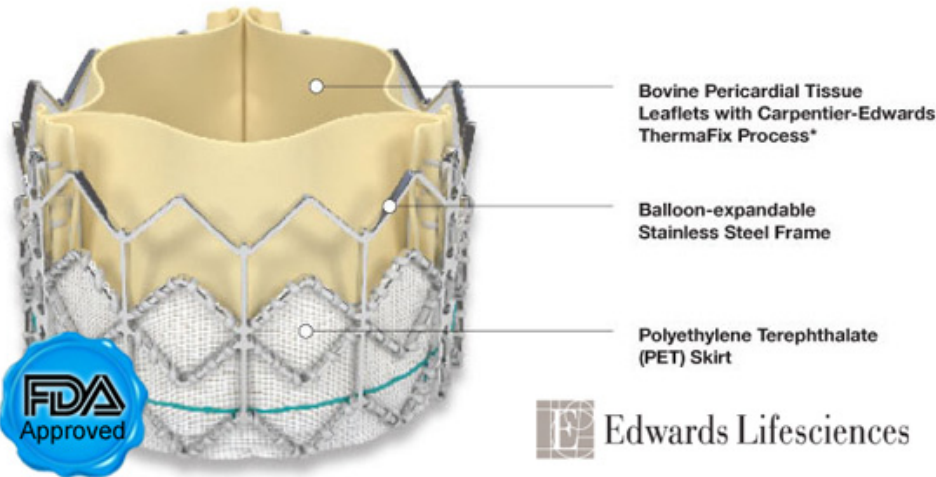


# 第1回臨床統計学セミナー

■ 日時： 2014年9月16日(火) 18:30-19:30

■ 場所： 国立国際医療研究センター新外来棟集団指導室



■ 話題： 「臨床試験と治療の基礎：プロトコルを書く際のポイント」

医療情報解析研究部 望月修一

臨床の現場で「こんな治療法があれば患者さんを救えたのに」と悔しい思いをされた経験があると思います。新しい治療法について、その有効性を科学的に証明するのが臨床試験や治療です。臨床試験や治療によって新しい治療法が世の中に出て行き、患者さんがその恩恵を受けることが出来るようになります。

今回のセミナーでは、第1回目としていわゆる「介入試験」を中心に医薬品医療機器の開発に欠かせない「臨床試験」の意義、プロトコルを書く際の注意点、統計学的な視点から見たポイント、さらに法令や規制、臨床試験を取り巻く最近の状況などについてお話させていただきたいと考えております。

参加申込み：

望月修一 ([smochizuki@hosp.ncgm.go.jp](mailto:smochizuki@hosp.ncgm.go.jp))まで

※資料準備の都合上申し込みがあると助かりますが、事前申し込みがなくても参加可能です。

■ 世話人： 清水孝雄 研究所長、研究所・病院・臨床研究センタースタッフ